

■ リチウム電池ユニットの確認

検寸機前面の電池ユニットに、USB電源端子が接続されていることを確認してください。
電源スイッチを入れても電源が入らない場合、このケーブルを抜き差しするか、リチウム電池ユニット側面のリセットボタンを押すことで、電源が復旧します。

■ 検寸機の構成と機能

検寸機は大きくは3つの機器で構成され、歯車を刻んだ測定竿に検寸装置を乗せ、これをスライドして量に接触させ、内蔵のセンサーで自動的に読み取り、この寸法を液晶に表示します。

○ データ表示部

検寸値をはじめ、計測に必要なガイダンスを液晶に表示します。

○ 計測スイッチ

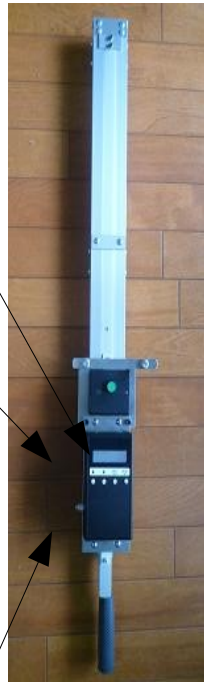
操作のための四種のスイッチを搭載しています。以下でその機能を解説します。

- ①決定： 選択中の項目を確定し、次の処理に進みます。
- ②戻る： 選択中から見て一つ前の項目に処理を戻します。
- ③↑/次： 選択項目を操作し、一つ次の候補を表示します。数値の場合は、数値を+1します。
- ④↓/前： 選択項目を操作し、一つ前の候補を表示します。数値の場合は、数値を-1します。

○ リセットスイッチ

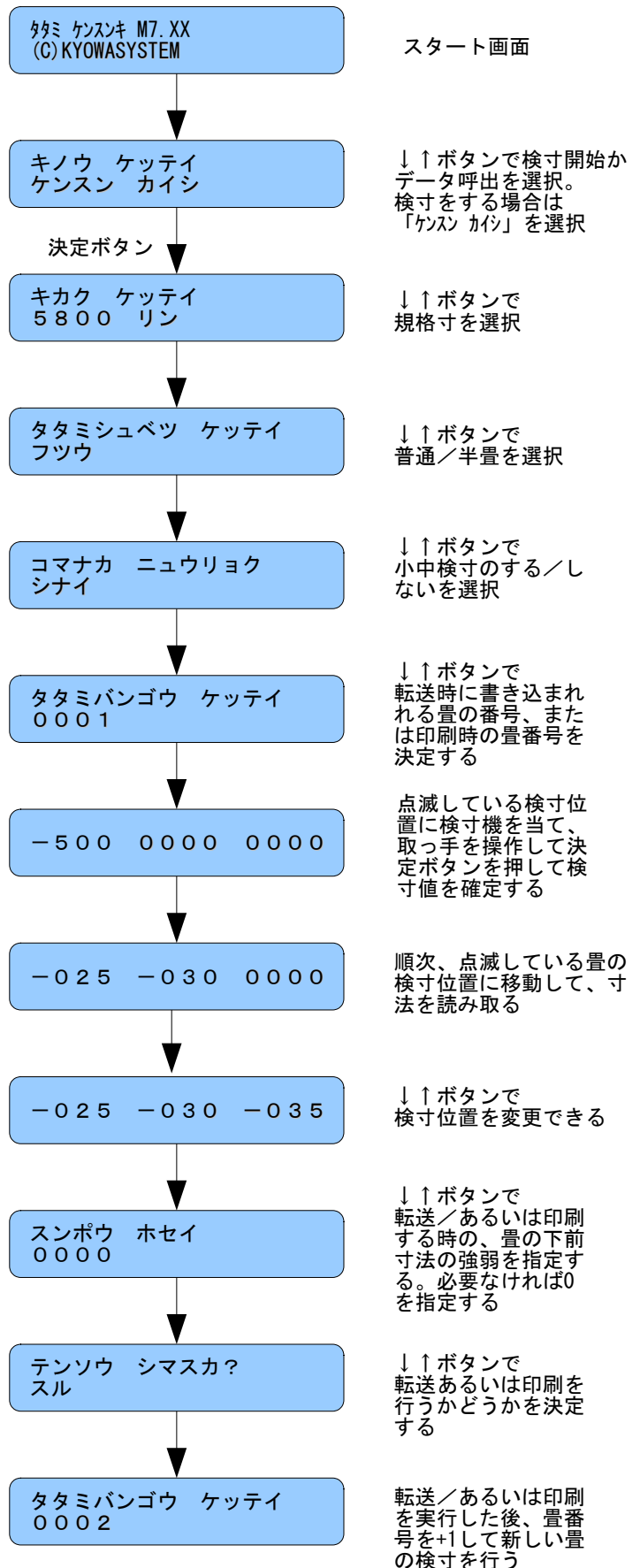
検寸値のリセットを行います。
検寸竿の取っ手を押し込んだ状態でこのスイッチを2秒以上押しすと、測定値を測定原点にリセットすることができます。

規格寸を5800としている場合、この位置の寸法は-500となるので、リセット時の寸法表示は-500となります。



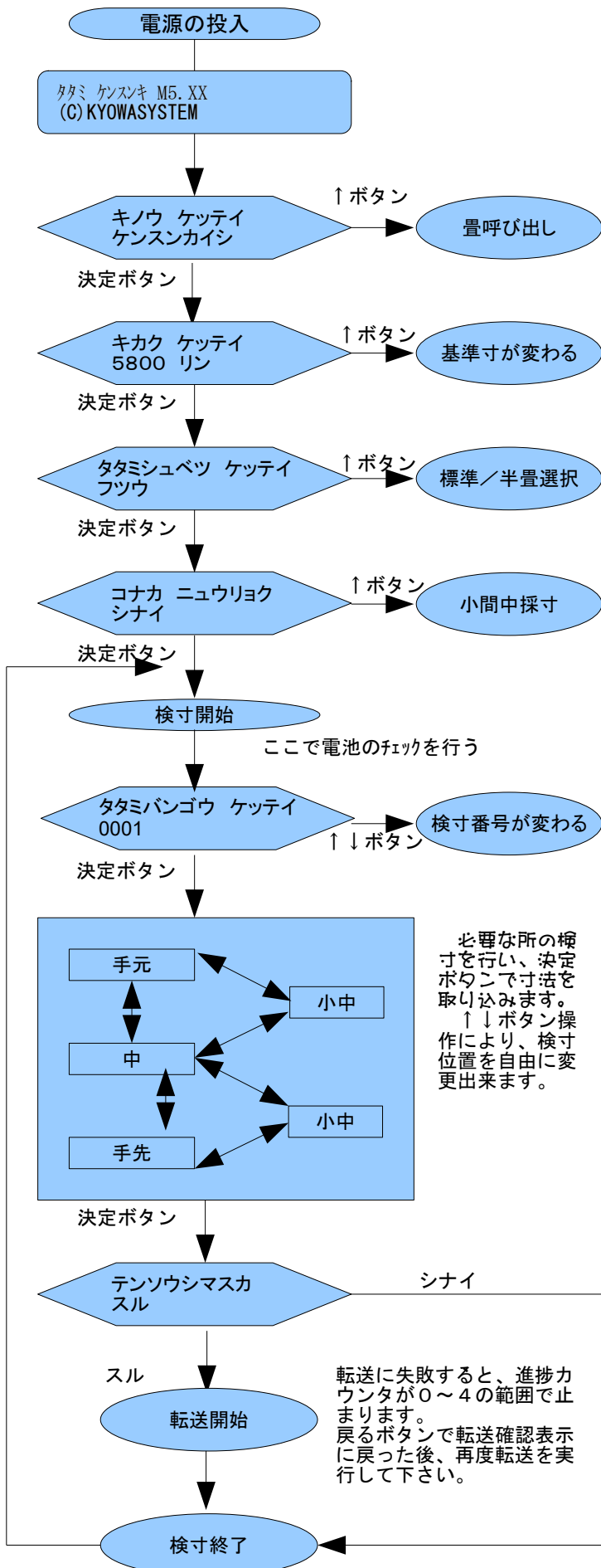
■ 検寸機の使い方

電源スイッチをONにすることで電源が入ります。



検寸機 クイックリファレンス

■ 検寸機の使い方のフロー

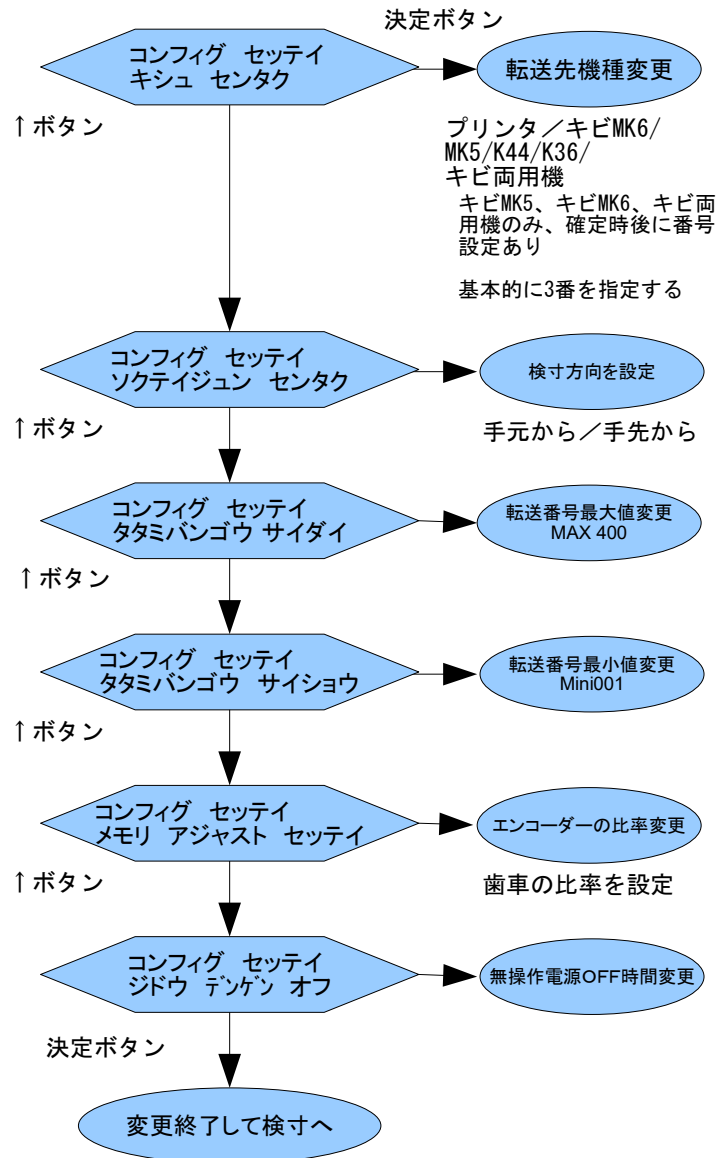


■ 機能の設定変更(オプション)

検寸機の機能について、必要に応じて設定を変更できます。

決定ボタンを押したまま、電源を入れると機能設定画面となります。

↑ ↓ ボタンで項目を選択し、決定ボタンでそれぞれの項目の設定画面に移行します。それぞれの設定画面では↑ ↓ ボタンで表示項目の変更、あるいは値の加減を行います。項目を決定したい場合は決定ボタンを押して下さい。



設定の変更を終了する場合は、コンフィグ設定の選択画面が表示されている時に、戻るボタンを押してください。機能決定画面に移行します。

再びコンフィグ設定画面に入りたい場合は、一度電源をOFFにした上で、決定ボタンを押しながら電源をONにしてください。